

長年の功労、功績に光

春の叙勲

長年の功労、功績に光——
令和3年春の叙勲で、本町の
芳賀榮三さん（豊間根・75）が
林業振興功労として旭日単光
章に、佐賀祐司さん（船越・
69）が消防功労として瑞宝単
光章に輝きました。受章のお
二人にお話を伺いました。



瑞宝単光章
〈消防功労〉

佐賀祐司さん
（船越・69歳）

「身に余る光栄で、照れくさいですね。先輩方についてきて良かったです」と、笑顔で喜びを語る佐賀さん。昭和48年に消防団第1分団に入団し、平成15年に同分団長に就任。その後、町消防団本部分団長、消防団副団長を歴任し、令和2年に退団されるまでの47年間、本町の消防活動に尽力しました。

平成23年に発生した東日本大震災では、行方不明者の捜索に

当たり、令和元年の台風19号災害では、各世帯への安否確認や水防活動を行い、被害の拡大防止に努めました。平成26年の荒川地区林野火災では、迅速な指揮で団員を統率し、懸命な消火活動を行った佐賀さん。活動を通して消防水利の必要性を訴え、町との調整や土地地権者への誠意ある説明に努め、防火水槽の設置など施設整備にも献身的に取り組みました。

団員の皆さんには「これからも使命感を持ち、地域防災への熱意を引き継いでいってほしいです」と、エールを送ります。



旭日単光章
〈林業振興功労〉

芳賀榮三さん
（豊間根・75歳）

「最高の名誉をいただき、とても驚いています。周囲で支えてくれた皆さんのおかげです」と、感謝の思いを語る芳賀さん。昭和58年に独学でシイタケ栽培を始め、県内外への視察や研修会に参加し、品質向上に向け研究を重ねてきました。平成6年の全国乾椎茸品評会では「どこ」の部で最高賞である農林水産大臣賞を受賞。全農乾椎茸品評会では、農林水産大臣賞に10

度輝き、平成22年には「名人位」を獲得しています。

「栽培を始めた当初の品評会では全国との力の差に唖然とし、悔しかったです」と当時を振り返ります。「研修会などでたくさんヒントを得ました。その恩返しになればと、自分の技術は惜しみなく教えています」と、全国各地の生産者からの視察や講師の依頼を受けるなど、後進の育成にも力を注いでいます。

今後は「シイタケ栽培は命ある限り続けていきます。自分の存在が誰かの目標になったら嬉しいです」と、話していました。

シイタケ栽培の道一筋 郷土守る使命貫き47年